



やがて水に歸る

かえ

前田亜季 永里健太朗 趙珉和 寺田農

「あなたを見かけたことがあります」

「私もなんだかそんな気がします」

水の首都・東京を

運命の恋のゆくえ

たゆたう二人の、

たゆたう二人の、

監督：榎戸耕史 脚本：窟田信介 撮影：丸池納／齊川仁 照明：森谷清彦／山川英明 録音：北村峰晴 美術：金勝浩一

スタイリスト：小川久美子 ヘアメイク：根本佳枝／新井はるか 編集：村石誠 サウンドデザイン：山本文勝 音楽：竹田直宏

Tokyo on the water

偶然が三つ重なったとき、
運命の船が
水の都 東京を滑走し始める—
「稀有なる実験作」の誕生！



冬の奥多摩から桜の舞う東京市街まで、近代の記憶と現代の風景が二重写しのように重なり合う中で繰り広げられる、古風な恋愛譚。水の上をたゆたうように、幾度となくすれ違う男と女の姿を追いながらも、物語は寸断・解体され、まるで題名をなぞるかのように、"やがて水に帰って" くる。

物語は、大学院を中退した石上が、同期で大学の助手である矢内からある仕事を頼まれたことに始まる。それは共通の師である「先生」からの依頼で、「ある女に会ってほしい」というもの。神田昌平橋上ですれ違ったその女・雛子と石上は、その後も運命に導かれるように二度、三度と出会いを繰り返すが、そこには二人が知ることのない、ある必然が隠されていた——。

『やがて水に歸る』は、桜美林大学映画専修の講師陣と学生たちとのコラボから生まれた、商業主義とは一線を画す、監督・榎戸耕史の久々の劇場用映画である。

揺れるヒロイン・雛子に前田亜季。石上には永里健太朗。ライバルとなる矢内に趙珉和。さらに名優・寺田農が「先生」を演じ、重厚感と奥行きを与えている。印象的な「水の上の東京」の風景を切り取った撮影は、丸池納。金勝浩一の美術、スタイリスト小川久美子らの確かな手腕が、若いエネルギーを支えている。



やがて水に歸る
Tokyo on the water

かえ

出演：前田亜季／永里健太郎／趙珉和／寺田農 他
監督：榎戸耕史 脚本：窪田信介 撮影：丸池納／齊川仁 照明：森谷清彦／山川英明
録音：北村峰晴 美術：金勝浩一 スタイリスト：小川久美子 編集：村石誠
サウンドデザイン：山本文勝 音楽：竹田直宏 制作：桜美林大学映画専修共同研究
2017/日本/カラー/ステレオ/BR/82分 <https://yagatemizu.wixsite.com/home>

12月2日[土]～15日[金]
モニングショー/レイトイショー

特別鑑賞券 ¥1,200(税込) 絶賛発売中! [当日一般¥1,700の処]

渋谷・Bunkamura前交差点左折
ユーロスペース
EUROSPACE
03-3461-0211 www.eurospace.co.jp

